



2026 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 三菱倉庫株式会社
代 表 者 名 代表取締役 社長 斉藤 秀親
(コード：9301、東証プライム)
問 合 せ 先 広報・IR 部長 猪俣 祐加子
(TEL 03-3278-6652)

株式会社阪急阪神エクスプレスの株式取得（連結子会社化）に関するお知らせ

当社は、本日、株式会社阪急阪神エクスプレス（以下「阪急阪神エクスプレス」という。）の全株式を取得し連結子会社化するために、阪急阪神ホールディングス株式会社（以下「阪急阪神ホールディングス」という。）と株式譲渡契約を締結することを決定しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

本株式取得は、許認可等の取得その他株式譲渡契約に定める前提条件の充足を条件として、2026 年度第 4 四半期を目途に実行する予定です。

記

1. 本株式取得の理由

当社は、倉庫、国際輸送、港湾運送及び不動産事業を中核として国内外で事業を展開しています。2025 年度を初年度とする「経営計画 [2025-2030]」（以下「経営計画」といいます。）においては、「MLC2030 ビジョン」として「トータルロジスティクスと街づくりを世界で展開し、社会のいつもを支え、非連続な成長を実現する」を掲げ、物流事業の成長加速とグローバル展開の強化を重要な成長戦略に位置付け、価値創出の実現に取り組んでいます。

阪急阪神エクスプレスは、国際輸送事業（航空・海上）において、アジアをはじめとするグローバルネットワークと高い専門性を有しています。

本株式取得により、当社グループの物流事業は主に国際輸送事業において地域的・産業的な機能強化と事業拡大を実現します。

両社の高い相互補完性とシナジー創出余地の大きい組み合わせにより、業界内におけるポジションを一層強固なものとするとともに、当社グループが経営計画の中で掲げる顧客のサプライチェーン全体を支援するトータルロジスティクスサービスの提供をグローバルに加速してまいります。

2. 本株式取得の概要

本株式取得に先立ち、阪急阪神ホールディングスは、セイノーホールディングス株式会社が保有する阪急阪神エクスプレスの全株式（発行済株式総数の 34%）を取得し、既に保有する株式（同 66%）と合わせて、阪急阪神エクスプレスの全株式を保有する予定です。その後、当社が阪急阪神ホールディングスから阪急阪神エクスプレスの全株式を取得する予定です。

3. 異動する子会社（株式会社阪急阪神エクスプレス）の概要

(1)	名称	株式会社阪急阪神エクスプレス		
(2)	所在地	大阪市北区梅田二丁目5番25号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 吉本 敏		
(4)	事業内容	利用運送事業、通関業、倉庫業、貨物自動車運送事業、輸出入貿易業及びその代理業、医療機器製造業		
(5)	資本金	100 百万円 (2026 年 3 月末)		
(6)	設立年月日	1999 年 5 月 12 日		
(7)	大株主及び持株比率	阪急阪神ホールディングス株式会社 66% セイノーホールディングス株式会社 34%		
(8)	当社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
		人的関係	該当事項はありません。	
		取引関係	一部事業において取引がありますが、取引額は軽微です。	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 (単体)			
決算期		2024 年 3 月期	2025 年 3 月期	2026 年 3 月期
純 資 産		23,302 百万円	19,952 百万円	22,991 百万円
総 資 産		34,505 百万円	31,298 百万円	35,603 百万円
1 株 当 た り 純 資 産		2,135,839.38 円	1,828,864.47 円	2,107,412.73 円
営 業 収 入		43,478 百万円	44,239 百万円	45,454 百万円
営 業 利 益		▲600 百万円	▲1,195 百万円	713 百万円
経 常 利 益		1,058 百万円	1,515 百万円	3,425 百万円
当 期 純 利 益		1,139 百万円	▲3,083 百万円	2,942 百万円
1 株 当 た り 当 期 純 利 益		104,420.57 円	▲282,589.71 円	269,749.10 円
1 株 当 た り 配 当 金		16,970 円	0 円	22,520 円

（参考）阪急阪神ホールディングスの国際輸送セグメントにおける最近3年間の経営成績及び財政状態

決算期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
セグメント資産	70,546百万円	69,335百万円	72,656百万円
外部顧客への営業収益	100,234百万円	104,633百万円	106,393百万円
セグメント利益	223百万円	▲1,284百万円	2,049百万円

（注）上記は、本株式取得を通じて取得対象となる阪急阪神エクスプレス及びその子会社の業績規模を示す参考として、阪急阪神ホールディングスの有価証券報告書に記載された「国際輸送」セグメントの財務数値を掲載したものです。本株式取得の対象範囲に

合わせて調整した数値ではなく、取得対象となる阪急阪神エクスプレス及びその子会社の連結経営成績及び連結財政状態を示すものではありません。なお、阪急阪神エクスプレスは連結財務諸表を作成しておりません。

4. 株式取得の相手先の概要

(1)	名	称	阪急阪神ホールディングス株式会社			
(2)	所	在	地	大阪府池田市栄町1番1号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 グループ CEO 嶋田 泰夫				
(4)	事	業	内	容	「阪急電鉄株式会社」「阪神電気鉄道株式会社」「阪急阪神不動産株式会社」「株式会社阪急交通社」「株式会社阪急阪神エクスプレス」の5社を中核会社とする純粋持株会社として、グループ全体の事業戦略の策定や経営管理、経営資源の最適配分を行う	
(5)	資	本	金	99,474 百万円 (2026 年 3 月末)		
(6)	設	立	年	月	日	1907 年 10 月 19 日
(7)	純	資	産	1,201,345 百万円 (2026 年 3 月末)		
(8)	総	資	産	3,543,589 百万円 (2026 年 3 月末)		
(9)	大株主及び持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) 14.26% 株式会社日本カストディ銀行 (信託口) 3.91%				
(10)	当社と当該会社の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。			
		人 的 関 係	該当事項はありません。			
		取 引 関 係	該当事項はありません。			
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。			

5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0%)
(2)	取 得 株 式 数	10,910 株 (議決権の数：10,910 個)
(3)	取 得 価 額	阪急阪神エクスプレスの普通株式 120,110 百万円 アドバイザー費用等 (概算額) 1,227 百万円 合計 (概算額) 121,337 百万円
(4)	異動後の所有株式数	10,910 株 (議決権の数：10,910 個) (議決権所有割合：100%)

6. 日 程

(1) 契 約 締 結 日	2026 年 10 月 30 日
(2) 株 式 譲 渡 実 行 日	2026 年度第 4 四半期（予定）

（注）株式譲渡実行日は、関係当局の許認可等の取得その他株式譲渡契約に定める前提条件の充足状況等により変更となる可能性があります。

7. 今後の見通し

本株式取得に伴い、阪急阪神エクスプレスは 2027 年 3 月期より当社の連結子会社となる予定です。本株式取得が当社の連結業績に与える影響は精査中であり、今後開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

以 上